

平成 28 年度医療技術等国際展開推進事業での派遣
(ホーチミン市およびティエンザン市での臨床指導医養成ワークショップ)

国際医療センター 部長 秋山 稔
派遣時期：平成 28 年 9 月 26 日～10 月 1 日

昨年度の医療技術等国際展開事業に引き続き今年度も同様な事業が採択され本院とベトナムとの協力が継続的に行われるようになりました。昨年度はチョーライ病院との医療・看護の専門分野の技術協力のみでしたが、今年度はこれに加えホーチミン医科薬科大学との新卒医師研修に関する協力を加えました。ベトナム保健省では新卒医師の研修の充実を目的に 5 年以上前から新卒医師の 18 か月のローテーション研修の義務化を目指してきましたがこれが軌道に乗らず、ホーチミン医科薬科大学を新卒医師研修の責任大学に指名しカリキュラムの作成・改定、研修の実施を依頼しました。ホーチミン医科薬科大学では筑波大学附属病院とチョーライ病医院との協力関係をさらに拡大して同大学の新卒医師研修への協力の可能性を本院に打診しました。幸い平成 27 年度医療技術等国際展開推進事業で協力が軌道に乗っており、さらに技術をベトナム地域に拡散することがチョーライ病院のみならず南部を中心にベトナムに広く貢献することが大いに期待されたため、今年度事業には新卒医師研修への協力を含めた内容を計画しました。まず、7 月中旬にホーチミン医科他薬科大学から 2 名の研修担当医師が筑波大学附属病院で新卒医師の研修に関して日本の制度、筑波大学附属病院での研修、さらに地域医療センターでの研修等を視察することにより学び、これをベトナムでの新卒医師研修に活用できるように多くの資料を持ち帰り今回の研修指導医講習を皮切りに今後の新卒研修の促進を計画しています。筑波大学附属病院総合臨床教育センターの前野哲博教授と鈴木英雄准教授と小職がホーチミン医科薬科大学で同大学の内科、外科、産婦人科、小児科の指導医、チョーライ病院とホーチミン市のキャンザンザーディン病院の指導医、さらに実際に地方での新卒研修のパイロット病院として計画されているメコンデルタの入り口のティエンザン省にあるティエンザン省総合病院の指導医に対して臨床指導医講習会を実施しました。ホーチミン医科薬科大学での日本の卒後教育システム、ベトナムにおける新卒医師研修のニーズ評価、カリキュラム作成、系統的な安全な指導法、指導のフィードバック法とティエンザン省病院での指導法およびフィードバックを全体のワークショップの枠組みとして、ホーチミンでのワークショップには約 60 名、ティエンザンでは約 20 名の参加の下に実施されました。講師は主に前野教授、鈴木准教授が行い、ワークショップでは多くの指導者が積極的に参加し、医学教育への情熱が感じられました。ホーチミン医科薬科大学では今年中にティエンザン省病院での卒後ローテーション研修を試験的に開始することを具体的に計画しており、参加医師の募集を開始したところです。今後新卒医師研修が充実し多くの有能な医師が主に地方の医療の底上げを行っていくことが期待されます。



ホーチミン医科薬科大学で前野先生



ホーチミン医科薬科大学で秋山 ティエンザン省総合病院で鈴木先生



ホーチミン医科薬科大学での集合写真



ティエンザン省総合病院での集合写真